

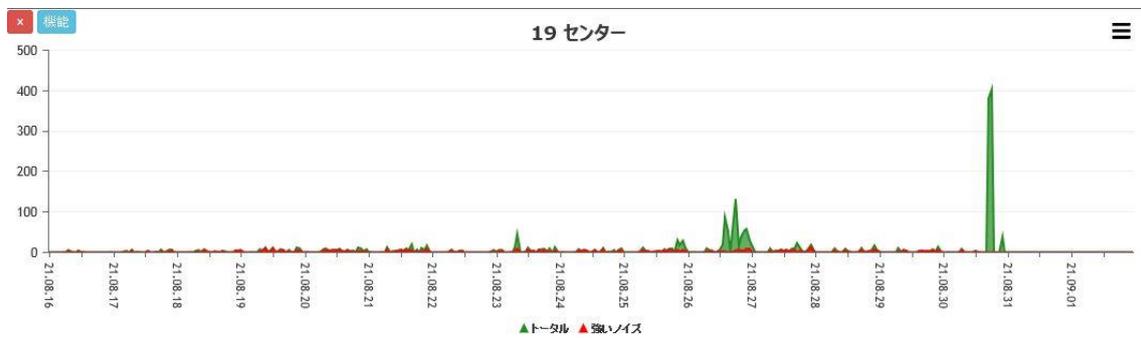
210831 関東～中部の同期した 1 本立ちについて



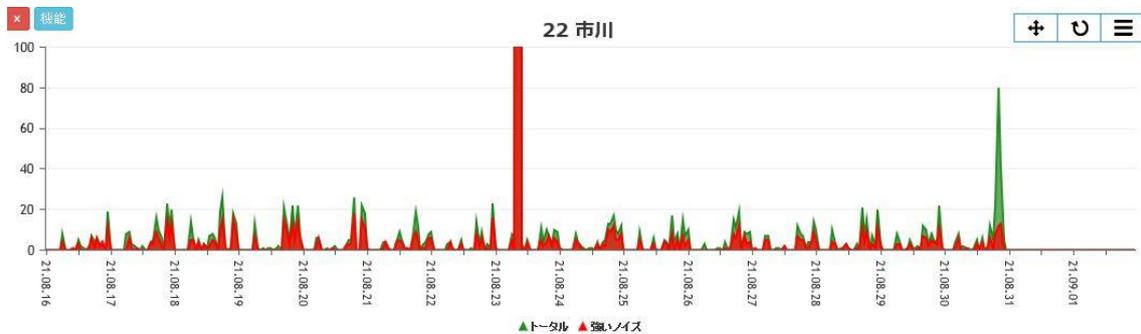
昨日 8 月 30 日の夜間から本日 31 日の朝までに関東～中部を中心に広範囲に 1 本立ちが出ています。また一部は大阪や広島など関西地方にも同期した 1 本立ちが見られます。原因は広範囲の雷雲の影響と思われるのですが、同じ地域でもデータの出ていない観測点と出ている観測点があり、いちがいにすべてが雷の影響とは考えにくいようにも思えます。

また 1 本立ちのデータの大きさも、だいたいが数十～数百なのに対して、長野の白馬が 50000 以上、安曇野が 42000、日光が 2500 近く、伊勢Dが 1200 で、特に長野のデータが突出して大きくなっています。仮に地震の前兆のデータとすると、データの中心部は中部、東海地区になります。参考に以下のデータを載せます。

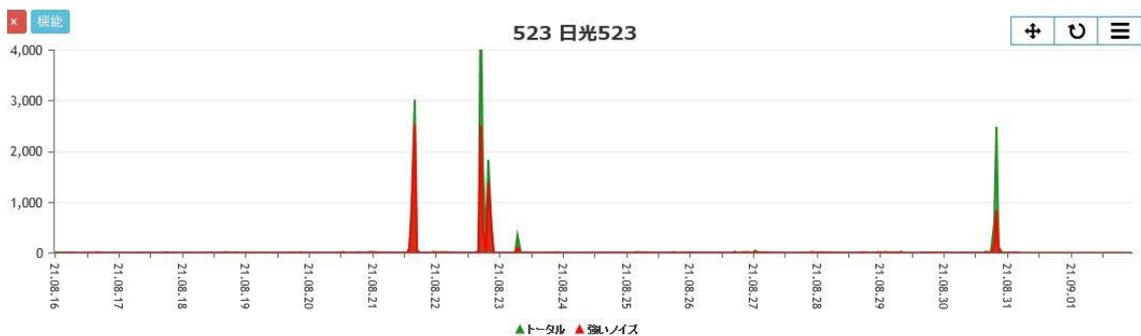
210831 各地 15 日間データ センター（世田谷）



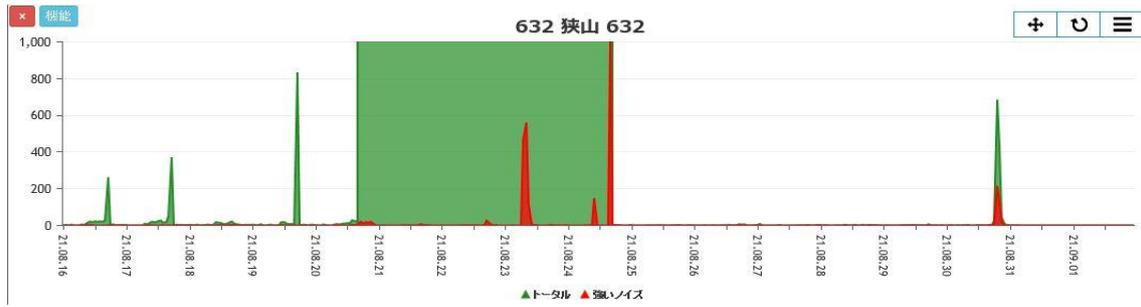
市川



日光



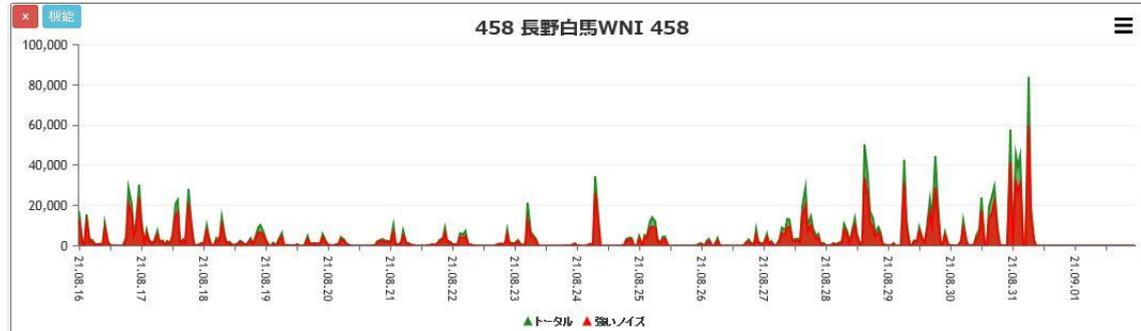
狭山



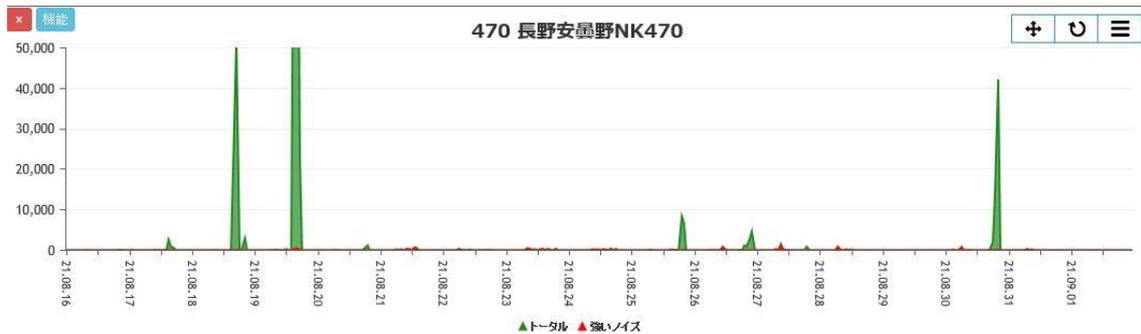
前橋



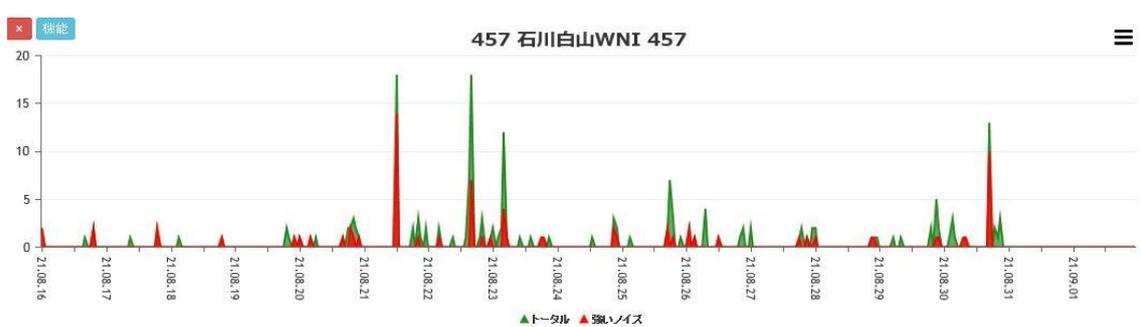
長野 白馬



長野 安曇野



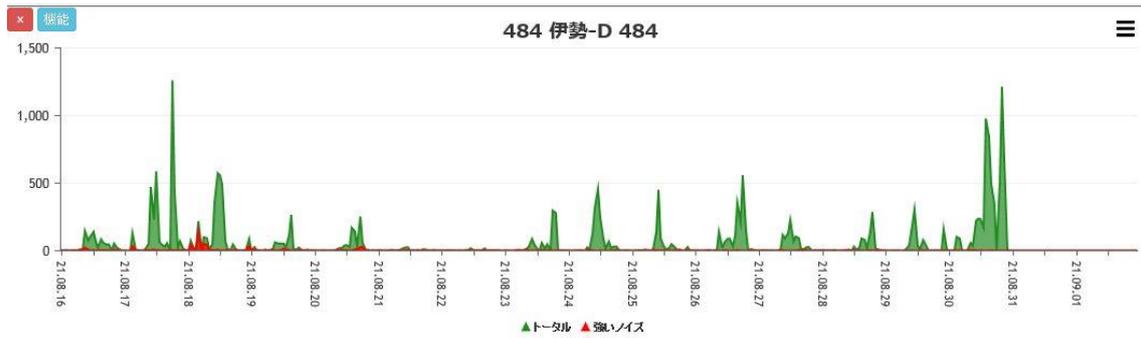
石川 白山



静岡 東伊豆



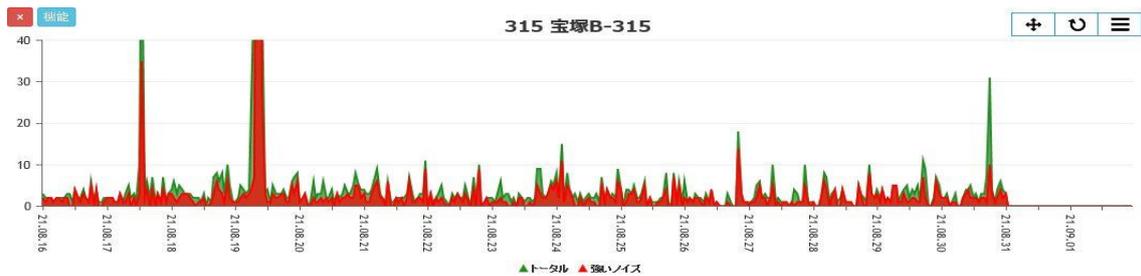
三重 伊勢D484



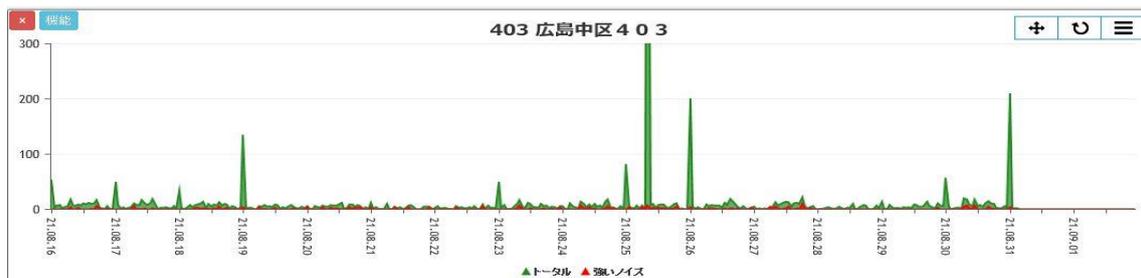
大阪 高槻



兵庫 宝塚



広島 中区 403



位置関係

